



家庭で火災を起こさないために 普段から予防のための対策を

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えています。身の回りには、使い方を誤ったり、ちょっとした不注意から、火災につながるものがたくさんあります。一人ひとりが火災予防に対する意識を持つよう心がけてください。

たばこ

消し忘れはもちろん、灰皿に吸殻がたくさんたまっていると危険です。

特にガラスの灰皿は、熱によって破損することがありますので、こまめに吸殻を処分してください。



コンセント

ほこりやゴミがたまっていると、そこに火がつくことがあるので、コンセントのまわりは日ごろからよく掃除してしてください。たくさんのプラグをいっぺんにつないだり(タコ足配線)、コンセントが古くなると、熱を持つことがあるので危険です。



ストーブ

洗濯物や紙など燃えやすいものは、ストーブから十分に離してください。

ストーブの熱によりスプレー缶が温められ、危険な状態になることがあるので、そばに置かないようにしてください。

スプレー缶はストーブの近くで使用しないでください。



仏壇などのろうそく

ろうそくを長い間つけっぱなしにしたり、近くに燃えやすいものがあると危険です。



ライター、マッチ

小さい子どもがいる家では、いたずらできないよう、手の届かないところにしまってください。



放火の予防

☆家の周りに新聞やゴミなどの燃えやすいものは置かない。

☆ゴミは収集日の朝に出しましょう。



「わたしの防災サバイバル」消防庁 (<http://www.fdma.go.jp/html/life/survival/pdf/h29/survival2903.pdf>) を加工して作成

笠間市消防本部 予防課 TEL0296-72-0874、笠間市防火管理協会、笠間市危険物安全協会